

令和7年全国山火事予防運動

林野庁では、3月1日から7日まで 「ふるさとの 山を守ろう 火の手から」

を統一標語として、「全国山火事予防運動」を実施し、全国で山火事予防意識の高揚を図る取組や、森林パトロール等の実施を呼びかけます。



令和6年5月に山形県で発生した山火事(写真提供：南陽市)



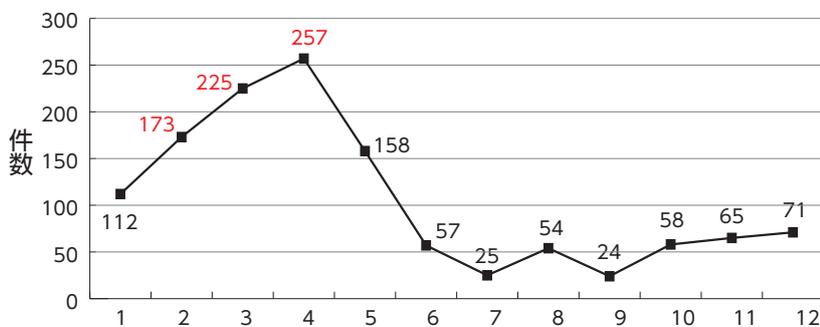
ヘリによる消火活動(写真提供：山口県)

**春は山火事に
ご用心**

アメリカやギリシャなど、世界では大規模な山火事が頻発し、大きな関心を与えています。日本では例年、冬の終わってから春の行楽シーズンにかけて多く発生しています。

暖かくなるこの時期は、ハイキングや農作業など、火元になりやすい人間の活動が活発になります。同時に、雨が少なく空気が乾燥していることで、山の中に厚く積もっている落ち葉や枯れ草などが燃えやすい状態になっています。これにさらに強風などの条件が重なると、大き

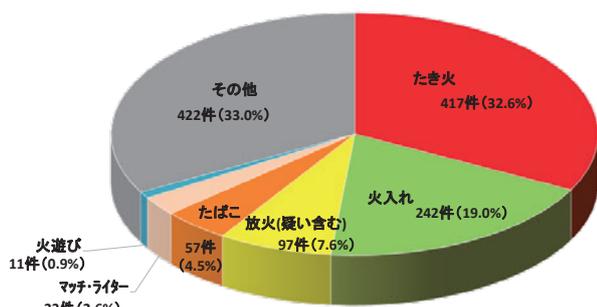
月別林野火災発生件数(R1年～R5年の平均)



資料：消防庁統計資料に基づいて作成
山火事の約半数が2月～4月に発生しています。

な山火事につながるおそれがあります。山火事は消防車が入れない山中で発生することが多く、発見の遅れや、消火活動が難航する間に被害が急拡大してしまうことがあります。一度発生してしまうと、貴重な森林が失われてその再生に長

出火原因別発生件数(R1年～R5年の平均)



資料：消防庁統計資料に基づいて作成

期間かかるだけでなく、家屋等に被害が及ぶ危険もあります。
令和6年は、5月に山形県南陽市で、また9月に山口県で発生した山火事で避難指示が発令され、地域住民の生活に大きな影響が出ました。
日本の山火事の出火原因は、たき火、火入れなど人間の活動によるものがほとんどのため、火事につながる行動をしない・させない意識が重要です。一人ひとりが火の用心を心がけ、日本の森林を守り、後世に引き継いでいきましょう。

出火件数を1日あたりに換算すると、全国で毎日3〜4件発生していることになりま

近年の山火事発生状況

年	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	平均 (R1~R5)
出火件数(件)	1,391	1,239	1,227	1,239	1,299	1,279
焼損面積(ha)	837	449	789	605	844	705
損害額(百万円)	269	201	176	345	125	223

資料：消防庁統計資料に基づいて作成



消火訓練(中部森林管理局)



「全国山火事予防運動」の今年のポスターには、愛知県刈谷市立依佐美中学校3年の山本恭颯さんの作品が、標語には、山口県私立柳井学園高等学校2年の本西柊真さんの作品が選ばれました。



林野庁からのお願い

- ① 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- ② たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ③ 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ④ 火入れをする際は、市町村長の許可を必ず受けること
- ⑤ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- ⑥ 火遊びはしないこと



山火事防止のシンボルマーク「まといりす」

森林保険

森林所有者を被保険者として、森林に対する8種類の災害による損害を総合的に補償する保険です。

山火事防止とあわせて、災害リスクへの備えに森林保険の活用をご検討ください。

◆森林保険のお問合せ◆

お近くの森林組合、森林組合連合会、または森林保険センターへご連絡ください。

【(国研)森林研究・整備機構 森林保険センター】

(電話) 044-382-3500

(Web) <https://www.ffpri.affrc.go.jp/fic/>



ウェブサイト

森林保険
公式キャラクター
たもちい



森林保険
公式キャラクター
そよりん

保険金のお支払いの対象となる8種類の災害

